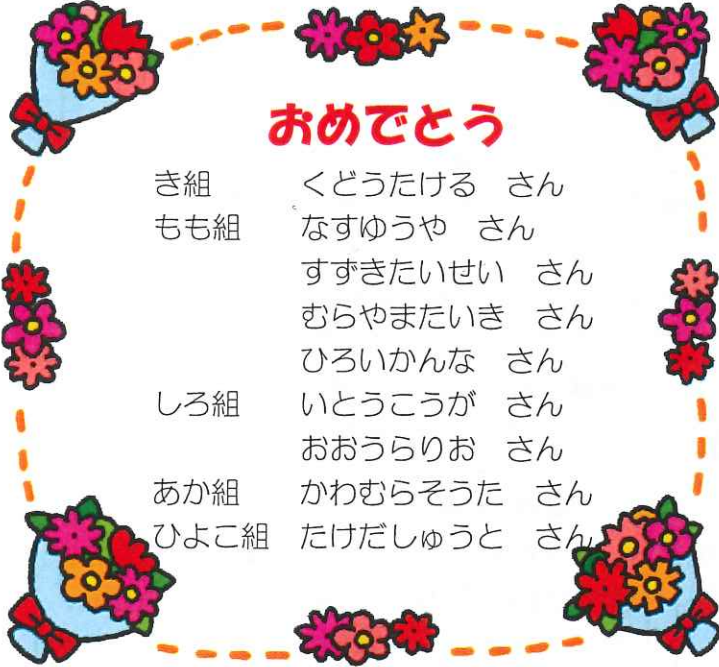




花表こばと保育園 ☎ 626-6031
FAX 626-6032

セミの鳴き声から、いつしか虫の鳴き声に変わり、初秋に移ってきました。今年はアブラゼミ、クマゼミ、ミンミンゼミが、山間ではツクツクボウシ、ヒグラシ等の鳴き声を聞きました。園ではカブト虫が成虫になり、スズムシが大きくなっています。半ばには涼しげな鳴き声が聞かれることでしょう。乳児クラスの子どもたちは、毎日覗き込み、歓声をあげながら楽しんでいきます。

さて、コロナ感染拡大が収まらず 12 日まで緊急事態宣言が出ました。市内の保育園では 30 か園以上、休園しているとの状況です。下記の欄にお願い事項を記しましたが、今一度感染予防に努めていきましょう。



おめでとう

き組 くどうたける さん
もも組 なすゆうや さん
すずきたいせい さん
むらやまたいき さん
ひろいかな さん
しろ組 いとうこうが さん
おおうらりお さん
あか組 かわむらそうた さん
ひよこ組 たけだしゅうと さん

<9月の予定>

1日(水) 集金袋渡し(8月延長保育利用者)
6日(月) 給食費等引き落とし
保育実習 ~18日
7日(火) 看護実習 ~10日
14日(火) 遊ぼう会
20日(月) 「敬老の日」につき休園
21日(火) お話し会
23日(木) 「秋分の日」につき休園
24日(金) 誕生会、避難訓練
27日(水) 乳児保育料引き落とし日
き・もも組プール 8, 15, 22日
(9月より午後になります)

運動会のお知らせ

日時：10月2日(土) 9時~11時30分
場所：花表公園南側(税務署側)
雨天の場合9日(土) 再雨天の場合16日(土)
*今年もコロナ感染拡大の状況により、縮小や変更することがあります。
*保護者競技、卒園児の競技はありません
*保護者は2名までとします

今月のうた

「うんどうかいのうた」
「ホ!ホ!ホ!」
「こおろぎ」



お知らせ

*コロナ感染拡大防止に対してのお願い

引き続き朝の検温(保護者の方も)、消毒、マスク着用をお願いします。お迎え時、お兄さんやお姉さんは部屋に入らず、園庭で待ってください。朝熱があったり、調子が悪い場合はお休みしてください。濃厚接触者になった場合は、園に連絡し、保健センターの指示に従ってください。

*花表公園を利用される方へ

先日、近隣の方と話す機会がありました。生活道路のため、車の出入りには気をつかうとのことでした。

- ・子どもが見向きもしないで公園に走って行くとき、はっとするときがある。
- ・公園の入口近くで親同士が話し、子どもを見ていないときがある。急に飛び出して来るかと気を使う。

急な飛び出しについては、散歩等通じ指導していますが、家でも気を付けて声掛けしてください。

地域の公園はいろいろな人が利用します。安全に遊ぶために、ルールやマナーは守っていきましょう。

*署名にご協力を!

現在、世帯の半数の方が提出しています。5人埋まっていなくてもいいですので17日までお願いします。

*写真の掲載は3日までです。注文予定の方はお忘れのないようお願いします。

ほけんだより

令和3年9月号

9月9日は「救急の日」です。子どもの事故を防ぐためには、大人が子どもの身の回りの環境に注意し、安全に整えることが必要です。いざという時のために応急手当の方法も身につけておきましょう。

頭を打撲した時



- ・こぶができた程度なら、安静にして冷たいタオル等で冷やし様子をみます
- ・傷口から出血している時は、清潔なタオルやガーゼで圧迫し、安静にして様子をみます
- ・顔色が悪く元気がないときは、小児科や脳外科を受診し、意識があって元気な時でも、1～2日は安静にして様子をみていきましょう
- ・意識がない、出血がひどい、繰り返し嘔吐があるときには、すぐに救急車を呼びましょう

異物が喉につまった時



★声が出せないなどの場合には
すぐ119番通報をしましょう

<1歳未満>

救助者の片腕に、赤ちゃんをうつぶせに乗せて手のひらであごを支えつつ、もう一方の手のひらの付け根で、背中の中を数回強く叩きます。

これで異物が取れない時は、仰向けにした赤ちゃんを片腕に乗せ、手のひらで後頭部をしっかり支えて、心肺蘇生法の胸部圧迫と同じやり方（指2本で圧迫）で胸を圧迫します。※2つの方法を数回ずつ繰り返す。

<1歳以上の小児・成人>

咳をさせ、背中を数回強く叩きます。異物が取れない時は、後ろから両腕を回し、おへその少し上の位置で、片手でこぶしを作ります。もう片方の手を重ねてすばやく手前上方に圧迫します。

※2つの方法を数回ずつ繰り返す。
圧迫後は必ず病院受診を！

やけどをした時

やけどをしてしまったら、すぐに流水で10分以上冷やしましょう。刺激を避けるため、患部に水道水・シャワーを直接当てるのではなく、少し上の部分に当たるようにします。服の上から熱湯などがかった場合は、無理に脱がさずに服の上から冷やしていきます。

◎全身の広い範囲・顔面などのやけどの場合：すぐに救急車を呼びましょう

◎やけどの範囲が片足、片腕以上の広範囲にわたる場合：救急車を呼ぶか、至急病院を受診しましょう

◎やけどの範囲が手のひら以上の場合や水ぶくれの場合：潰さないようにして、病院を受診しましょう
なお、市販の冷却シートは、やけどの手当には使えません。



◎困った時の相談電話や検索アプリ

愛知県救急医療情報センター 052-263-1133 (24時間)

小児救急電話相談 #8000 (一般ダイヤル回線は052-962-9900 (午後7時～翌朝8時))

全国版救急受診アプリ「Q助」(総務省消防庁)

<参考資料> 事故防止ハンドブック(消費者庁)、小児救急ガイドブック(名古屋市・名古屋市医師会・名古屋市小児科医会)